

研修概要



【概要】

アジャイル開発に取り組む前に、押さえておきたい基本的な考え方を説明します。また、アジャイル開発に対するよくある誤解や不安に思われることをピックアップして解説します。

【目標】

本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。

1. 一般的なアジャイル開発の概要を理解する。
2. アジャイル開発と従来の開発手法の違いを説明できる。
3. お客様やプロジェクト関係者に対して、アジャイル開発を適用した場合の有効性を説明できる。

【期間】1日間

【対象】

アジャイル開発手法の考え方や進め方を理解し、活用したい方。

【前提知識】

特になし。

午前

1. 富士通のアジャイル開発への取り組み

富士通グループにおけるアジャイル開発の取り組みの歴史
お客様・SEからの問い合わせの状況
富士通におけるアジャイル開発の実践事例

2. アジャイル開発とは

こんな経験はありませんか？
使われない機能
アジャイル開発はこれを実現しています
まずは、アジャイル開発を知りましょう。
お客様の満足を最優先とする
短い間隔で、継続的にリリースする
アジャイル開発のスコープ
お客様と開発者が協調する
要件が変化するかどうかで使い分ける

3. アジャイル開発手法

アジャイル開発における主なキーワード

- (1) リーン [ソフトウェア開発]
リーンソフトウェア開発の7つの原則
リーンソフトウェア開発の7つのムダ
- (2) スクラム
スクラムにおける役割
スクラムを行う場合のプロジェクトの流れ (例)
準備計画のイメージ
インセプションデッキとは
認識のズレを防ぐ
大事なことを明らかにする
インセプションデッキ (10の質問と課題)
インセプションデッキの課題一覧 (1 / 2)
インセプションデッキの課題一覧 (2 / 2)
(参考) インセプションデッキの進め方
(ワーク) インセプションデッキを作ってみよう
インセプションデッキ作成後

午後

3. アジャイル開発手法 (続き)

- (3) X P (CI)
- CIの定義
- CIとは何か？
- CIの目的
- アジャイル開発の難しさ
- CIの役割
- CIとは何か？
- CIによる品質確保の仕組み (1)
- CIによる品質確保の仕組み (2)
- CIによる品質確保の仕組み (2)
- CIによる品質確保の仕組み (3)
- CIの利用イメージ
- CIシステムのソフトウェア構成例

- CIサーバを使ってできること (1/2)
- CIサーバを使ってできること (2/2)

4. (ワーク) スクラムゲーム

5. アジャイル開発への疑問

アジャイル開発って○○なんでしょう？
アジャイル開発って○○はどうするの？！

6. 幹部社員の関わり方

幹部社員のマインドチェンジ
手法の違いを理解する
チームに権限委譲し支援する
プロセスの遵守を支援する
(参考) リーダーシップとメンバーの行動特性